

準備を進めてきたアイス屋さんごっこを楽しみました。店員さんとお客さんに分かれて交代しながら取り組む中で、自分の役割を意識して楽しむ様子が見られました。回数を重ねるごとに店員役の接客の楽しさを感じ、注文された時には「かしこまりました！おまちください！」と役になりきって返答していました。また、注文を聞くだけではなく、アイスの返却場所が溜まらないように「おかたづけもしないと！」と、楽しむために必要な役割を自分で見つけようとする姿も見られました。同じお客さんに注文を取ったり、違うアイスを渡したりしないように、店員役の子ども同士で声を掛け合ったり、教え合ったりして協力し合う姿に頼もしさを感じました。

先月より、毎週月曜日にホールで合同礼拝を守っています。短い時間ではありますが、「きょうはどんなおはなしかな？」と楽しみにしたり、お兄さんお姉さんたちと一緒に一生懸命さんびかを歌ったりしています。聞いたお話もとてもよく覚えており、子どもが神さまを身近に感じていることがまっすぐに伝わってきます。

今月は夏の遊びが始まります。大きなプールでの初めてのプール遊びです。安全に楽しむための方法や約束を一緒に考えながら、水の冷たさや気持ち良さを全身で感じて楽しみ、思う存分満喫したいと思います。また、泥んこ遊びや色水遊びなど暑い季節だからこそ楽しめる活動やリサイクル素材を利用した水遊びのためのおもちゃ制作にも取り組んでいきたいと思っています。



5月から育てているいんげん豆を収穫することができました。日々大きくなっていく豆の実を「もうとれる?」「とる!」と楽しみにしていた子どもたち。収穫した翌日の給食に出てくると、ひとつずつスプーンですくいながら、「もしかしてこれもうさぎぐみのまめかな?」と嬉しそうに食べていました。偶然、その次の日の給食にもいんげん豆が出てきて、「またでてきた!」と収穫の喜びに満たされている子どもたちでした。

みんなで楽しんだ『ひつじまくど・ふわふわおべんとうやさんごっこ』は、他クラスの友だちも来てくれて、大満足だったようです。遊びを進めていく中で、必要なものに気づいて作ったり、友だちとイメージを共有して話し合い、方法を考えたりルールを決めたりと、一つひとつ立ち止まりながら取り組んできました。そうして何度も何度も話し合い、お互いに思いを伝え合ううちに、自分たちで遊びを考え、進めていく楽しさや達成感を感じていたように思います。ひつじ組ではこれからも、自分の思いを友だちに言葉にして伝えてみることで、友だちの思いに耳を傾け共感したり、相手の思いに気づいたりしながら自分たちで遊びを進めていくことを大切にしたいと思っています。

もうすぐ七夕です！今、子どもたちは七夕に興味津々です!!七夕飾りを作りながら一つひとつの飾りの意味を知ったり、星について一緒に調べたり、星座のお話を聞いたり、興味をどんどん広げています。身近な用具や素材を使って制作することも引き続き楽しんでいきたいと思っています。

そして、やってきた夏！今月はプール遊びや水遊び、寒天遊びなど夏ならではの遊びを楽しみ暑さを吹きとばしたいと思っています。

また、大切に育てている、ひつじ組のミニトマトとピーマンも収穫の時を迎えそうです。収穫したミニトマト・ピーマンを使ってクッキングも楽しみたいと考えています。お楽しみに!!



みんなで七夕の星について、ベガ(織姫)とアルタイル(彦星)のお話をしていた時のことです。  
保育者「七夕に出てくる女のひとと男のひとの星だよ!」  
Aちゃん「あぁ!“おだいきさま”と“おひなさま”ね!!」  
みんな「・・・」

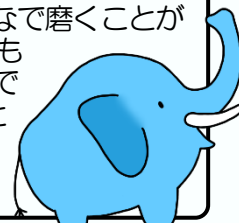
う〜ん・・・似ているような・・・

保育者「おいっ!!」

一瞬、戸惑いの空気が流れるほど、おいしい答えでした。一人ひとりが頭の中でどんな風に思い浮かべたのか・・・担任の想像も膨らみました。

暑さが厳しい季節となりましたが、元気いっぱいの子供たちは戸外へ出ると「サッカーやろう!」「とび箱やりたい」「鉄棒練習してくる」と言っはたくさん汗をかきながら体を動かす遊びを楽しんでいます。熱中症対策として生活の中で気を付けることや、戸外遊びをする時には水分補給をこまめに行うこと、また、日陰で休憩することなど、暑さの中でも健康に過ごす方法を保育者と一緒に考え、実践しようとする姿も見られるようになってきました。この夏も、子どもたちと一緒に健康に気をつけながらたくさんの経験を通して楽しみを見つけていきたいと思っています。

今月は楽しみにしていたプール開きがあります。そして、『ぞう組になったらできる』と期待していた大切な役割の1つ、プール掃除も行います。最近給食後にトレイを拭く仕上げの手伝いや、自分たちが使った絵の具のカップや筆を進んで洗うなど、日々の生活の中で身近な物がきれいになる喜びを感じており、『あの大きなプールをみんなで磨くことができる』と今から楽しみにしています。どんなことにも“おもしろそう”“やってみよう”と前向きな気持ちで取り組もうとする姿や、“人の役に立つことができる”と自信を持ってやってみようとする姿を大切にしながら過ごしていきたいと思っています。



ある日、ドッチボールの外野手を決めていた時のことです。立候補が2人いたので、どうやって決めようかと話し合っていました。

Aくん「どうやって決める?」

Bくん「ぼくさ、ゆるすよ」

Aくん「え?なにをゆるすの?」

Bくん「だから、ぼくさっき外野したからAくんにゆるすの」

保育者「それってもしかしてゆるすって言いたかったのかな?」

Bくん「それだよ。」

子どもたちのやりとりに、その場のがほっこりした瞬間でした。